

事業概要説明シート

事務事業番号 10201080003

事務事業名	公共下水道計画事務(雨水)		
事業開始年度	1958(S33)年度	担当部署	下水道部 下水道整備室

根拠法令	下水道法、都市計画法
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(計画書等の作成事務を一部コンサル委託)
目的(何のために)	下水道法、都市計画法に基づく事業認可等の取得又は変更により、円滑に下水道整備を行うことで浸水被害の軽減に努める。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	本市の公共下水道は分流式の流域関連公共下水道で計画しており、下水のうち雨水は枚方市の各ポンプ場等から河川へ放流している。こうしたことから、河川管理者である国や大阪府をはじめ流域関連市と協議調整を行いながら下水道法、都市計画法に基づく手続き等を行い、公共下水道事業を円滑に進めております。
類似事業	大阪府:流域下水道計画事務
事業の必要性	本市の公共下水道は流域関連公共下水道であり関連市との協議調整が必要である。また、事業を進める上で国の交付金の活用からも下水道法、都市計画法の手続きは必要である。

コスト		H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	3.05人	24,675千円	3.05人	24,400千円	3.05人	24,113千円	
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円	
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	
人件費計(A)		24,675千円	24,400千円	24,113千円			
直接経費(B)		7,393千円	520千円	78,000千円			
総事業費(A+B)		32,068千円	24,920千円	102,113千円			

財源内訳		H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
国庫支出金							
府支出金							
受益者負担(使用料等)							
その他							
一般財源		32,068千円	24,920千円	102,113千円			

	内 容	金 額
平成24年度事業費の主な内訳(人件費除く)	公共下水道計画変更に関する業務委託(雨水分)を発注	520千円
		千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号

10201080003

事務事業名	公共下水道計画事務(雨水)		
事業開始年度	1958(S33)年度	担当部署	下水道部 下水道整備室

	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
活動実績	① 公共下水道(雨水)管渠施工延長	m	591	362	919
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	①				
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	下水道法・都市計画法に基づく事業認可を取得又は、変更して円滑な下水道整備を行うことで浸水被害の軽減に努める。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	他自治体においても、近年の気象の変化に伴い局地的な集中豪雨による浸水被害が発生し、その対応に追われている。他市においても地域特性に応じた対応を進めている。				
特記事項	緊急かつ効率的に浸水被害を最小化することを目的に、平成21年度に「下水道浸水被害軽減総合事業」が創設された。本市においても平成24年度の豪雨被害を受けたことで、その制度を活用するため、平成25年度に計画を策定し平成26年度以降で交付金を活用しながら事業を実施していく。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策 (平成24年度)	現状のまま継続	今後も下水道整備10箇年計画より改善を進めていく。			
一次評価結果 (平成24年度)	整備計画と下水道事業における経営の健全化と連動は図られているか。より効率的な執行方法の検討が必要では。				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	上下水道ビジョン及び下水道事業経営計画の方針に基づき進めており、概ね経営の健全との連動は図れている。今後は新たな取組として、下水道浸水被害軽減総合事業を進めるなどにより交付金を有効に活用しながら、効率的に実施していく。			